

Cisco CallManager クラスタで管理ユーティリティを使ったパスワード同期確認

目次

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[表記法](#)

[パスワード同期の確認](#)

[関連情報](#)

概要

このドキュメントでは、Cisco CallManager クラスタの SQLSvc、CCMServiceRW、CCMService、CCMCDR および CCMUser のパスワードの同期を確認するために管理ユーティリティを実行する方法について説明します。

症状

AdminUtility (adminutility.exe) を実行すると、次の症状が発生する可能性があります。

- パブリッシャで SQLSvc に関する障害の監査結果が表示されます。サブスクリイバに登録された電話機が不在転送 (CFA) を実行できません。さらに、サブスクリイバの CCMADMIN ページからデータベースを変更できません。
- NT サービス アカウントが変更されると、AdminUtility がサービスを停止および開始しません。
- パブリッシャ上で SQLSvc および CCMService アカウントに関連するアカウント認証の失敗があります。

クラスタ内のすべてのサーバを再起動すると、これらの症状をすべて解決できます。これは、Cisco Bug ID [CSCsb08117](#) ([登録ユーザ専用](#)) に関連するもので、AdminUtility がサービスを停止しません。この不具合は Cisco Unified CallManager 4.1(3)sr2 で修正されています。

前提条件

要件

次の項目に関する知識があることが推奨されます。

- Cisco CallManager
- Microsoft SQL

使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、次のソフトウェアとハードウェアのバージョンに基づくものです。

- Cisco CallManager 3.3(x) および CallManager 4.x

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな（デフォルト）設定で作業を開始しています。ネットワークが稼働中の場合は、コマンドが及ぼす潜在的な影響を十分に理解しておく必要があります。

表記法

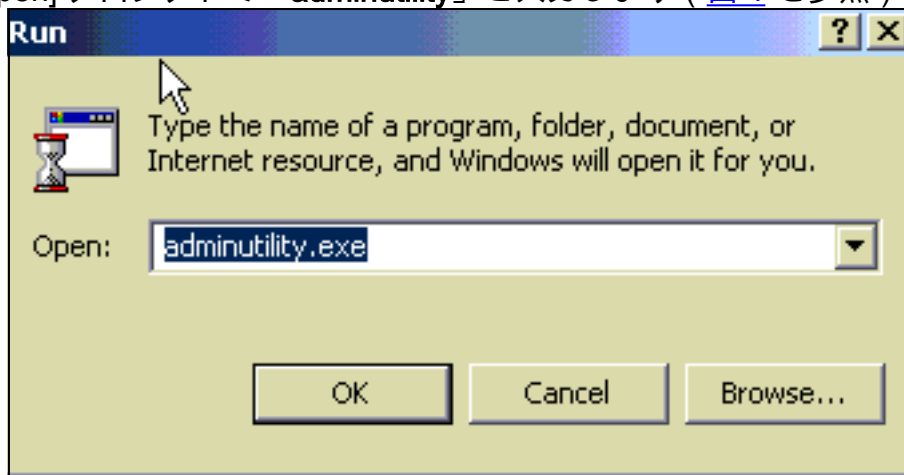
ドキュメント表記の詳細は、『[シスコ テクニカル ティップスの表記法](#)』を参照してください。

パスワード同期の確認


この手順は、C:\Program Files\Cisco\Bin ディレクトリにある AdminUtility.exe を起動します。これを実行するには、パブリッシャ サーバ上のローカル管理者アカウントを使用してください。AdminUtility は、サブスクリバ サーバでは正常に実行できません。

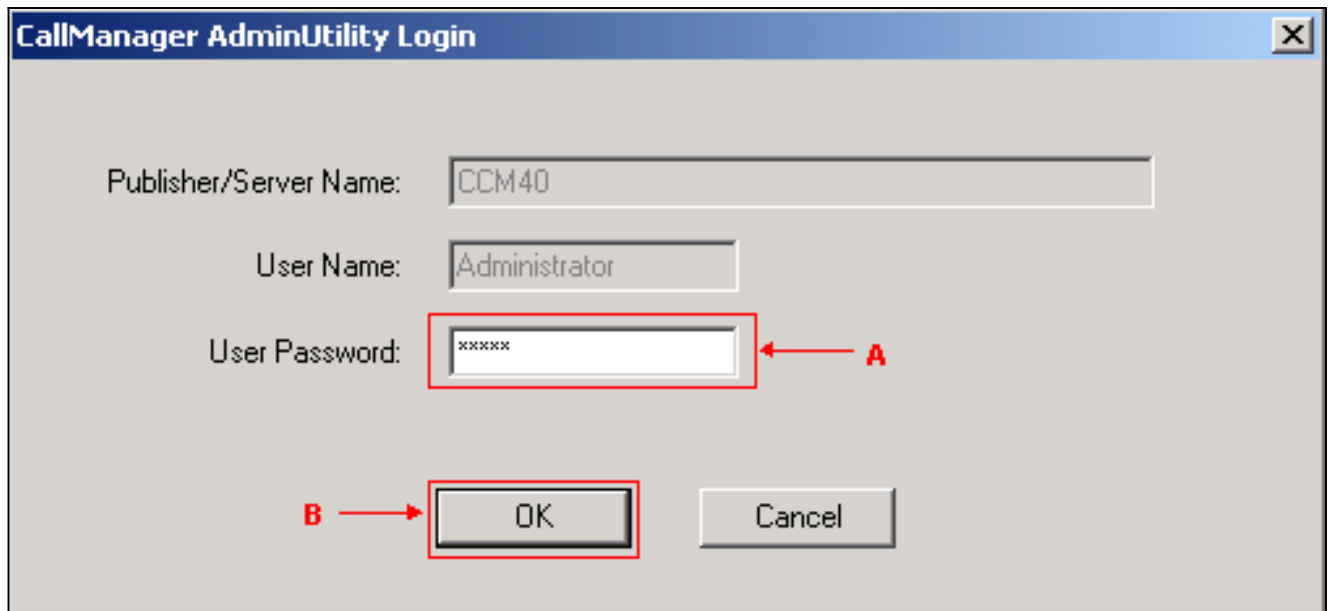
次の手順を実行し、Cisco CallManager クラスタの SQLSvc、CCMSERVICE、CCMSERVICE、CCMCDR および CCMUSER のパスワードの同期を確認します。

1. [Start] > [Run] の順に選択します。
2. [Run] ウィンドウの [Open] プロンプトで「adminutility」と入力します ([図 1](#) を参照)。 

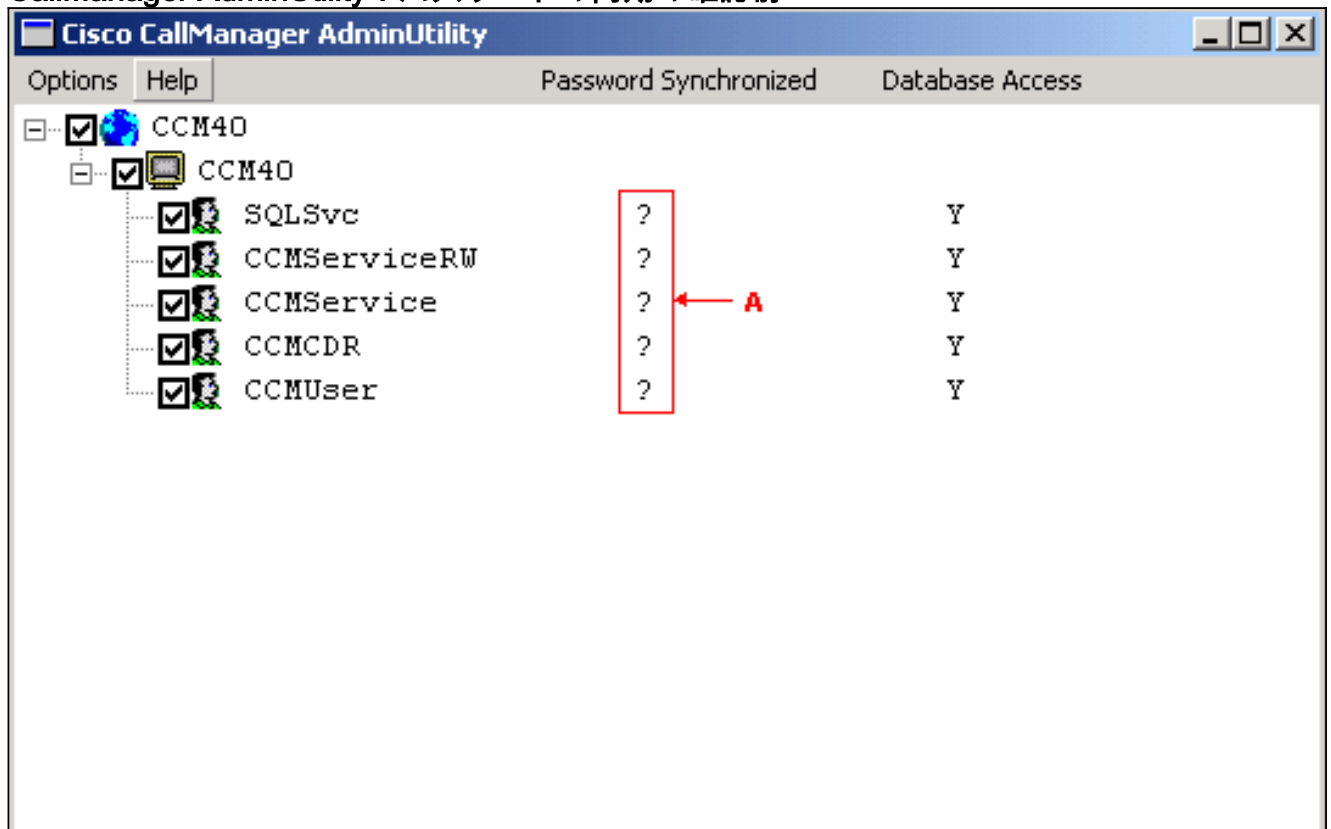


1 : AdminUtility の実行

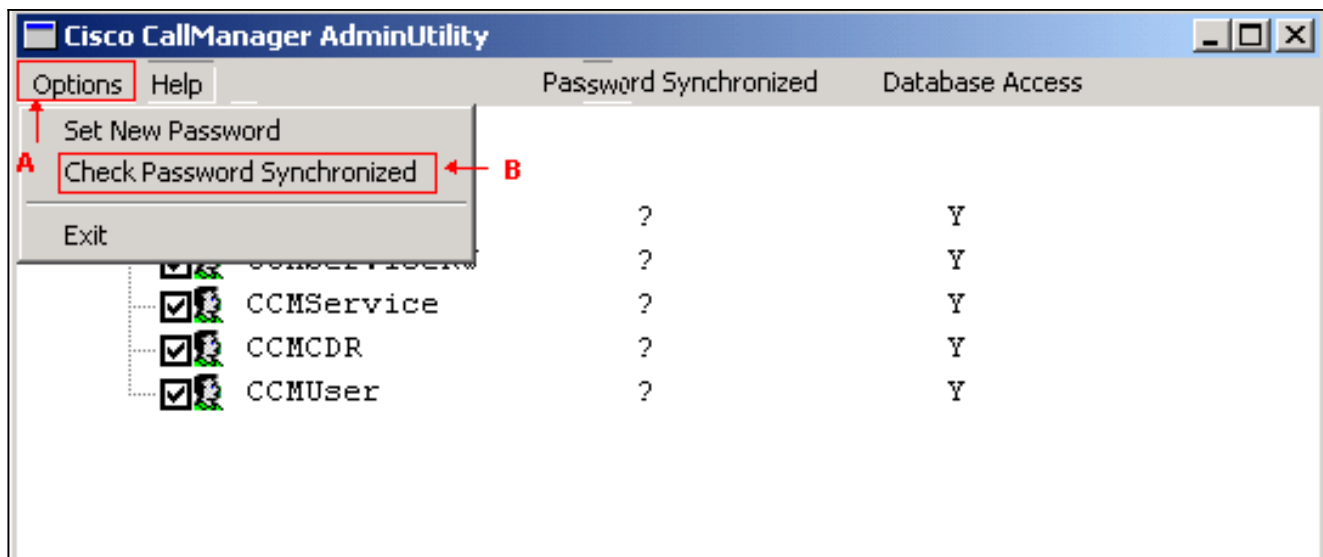
3. [OK] をクリックすると、[CallManager AdminUtility Login] ウィンドウが表示されます ([図 2](#) を参照)。 



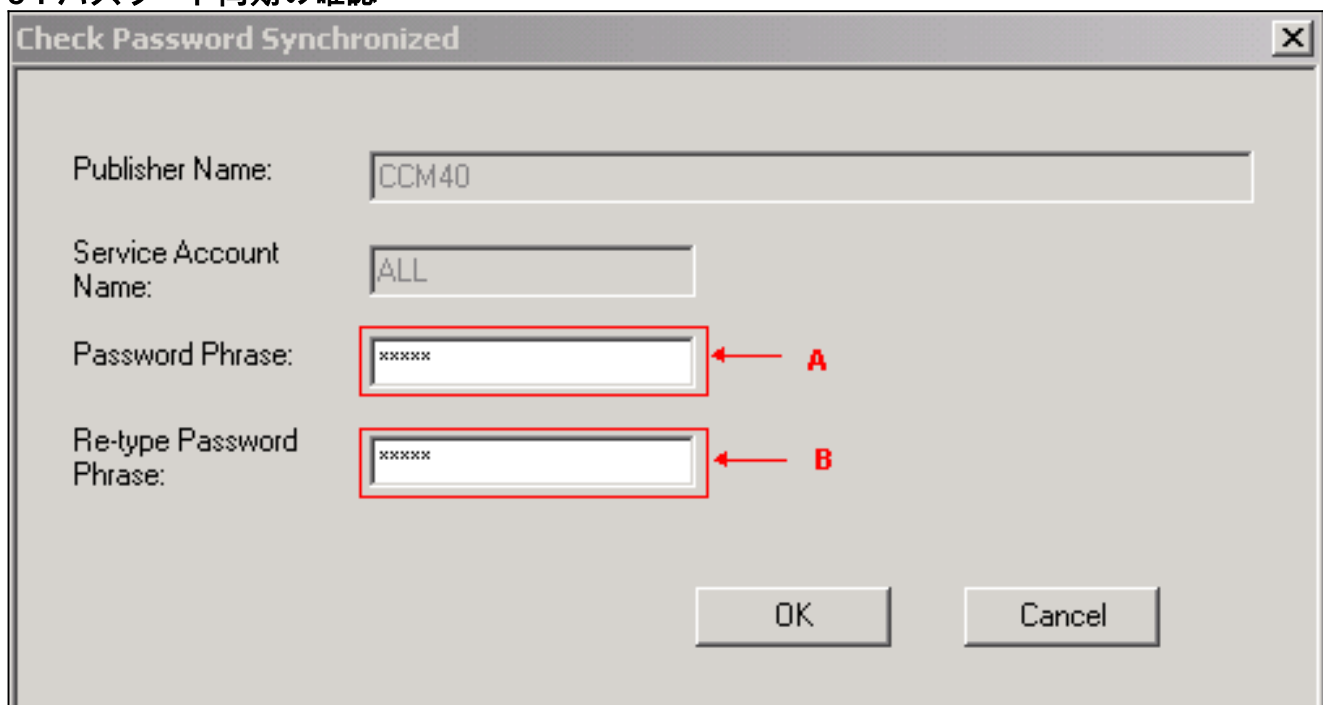
4. [User Password] を入力します。(図 2 の矢印 A を参照)。
5. [OK] をクリックします (図 2 の矢印 B を参照)。 図 3 が表示されます。 図 3 : Cisco CallManager AdminUtility : パスワードの同期の確認前



6. パスワードを同期するユーザを確認します。この例では、いずれのユーザ パスワードも同期されていない (図 3 の矢印 A が指している疑問符を参照) ので、すべてのユーザを確認します (図 3 参照)。それらは、SQLSvc、CCMSERVICE、CCMCDR、および CCMUser です。
7. [Options] メニューをクリックします (図 4 の矢印 A を参照)。 図 4 : Cisco Unified CallManager AdminUtility : パスワードの同期を確認



8. ドロップダウン リストから [Check Password Synchronized] を選択します (図 4 の矢印 B を参照)。[Check Password Synchronized] ウィンドウが表示されます (図 5 参照)。図 5 : パスワード同期の確認



9. [Password Phrase] (図 5 の矢印 A を参照) および [Re-type Password Phrase] (図 5 の矢印 B を参照) に入力します。注: [Password Phrase] は、SQLSvc、CCMServiceRW、CCMService、CCMCDR、および CCMUser アカウントのものとは異なります。
10. [OK] をクリックすると、パスワード同期を確認した結果が表示されます (図 6 を参照)。
- 図 6 : Cisco CallManager AdminUtility : パスワード同期の確認後

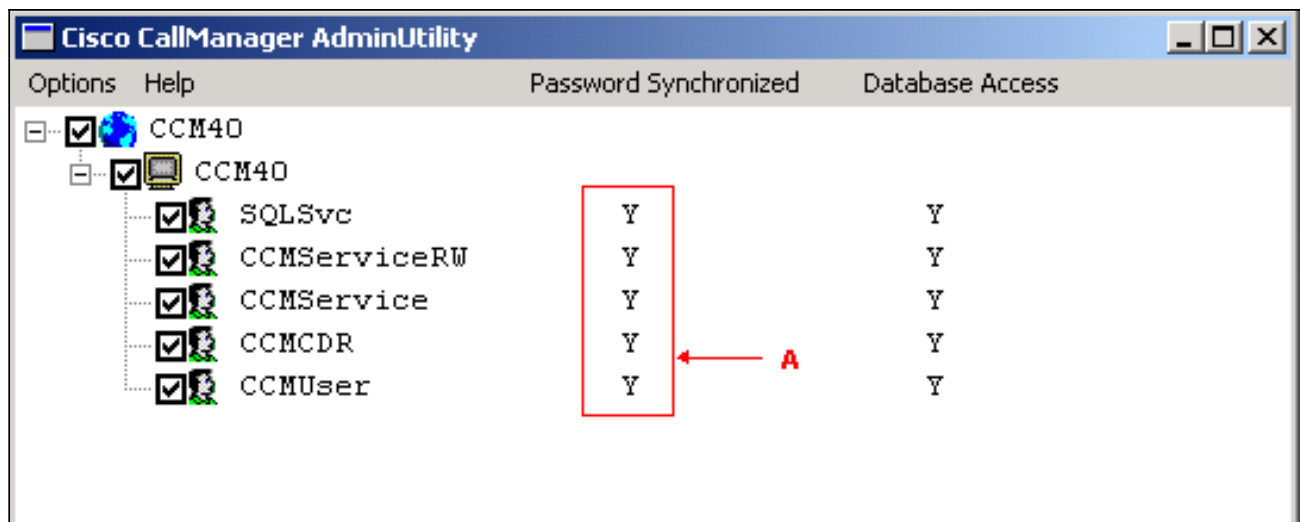


図 3 の矢印 A と 図 6 の矢印 A が指す [Password Synchronized] 列を比較すると、SQLSvc、CCMSERVICE、CCMSERVICE、CCMSERVICE、CCMCDR、および CCMUser のそれぞれのパスワードがすべて Cisco CallManager クラスターで同期されているのがわかります。「？」記号は不明を表し、「Y」はパスワードが同期済みであることを表します。注: CCMPWDChanger ツールは、Directory Manager、CCMSysUser、CCMAdministrator、および IPMASysUser のパスワードを変更するために使用します。場合によっては、AdminUtility を使用してパスワードを同期する前に、パスワードを変更するようにユーザに要求されることがあります。Cisco CallManager から CCMPWDChanger を実行するには、[Start] > [Run] を選択し、「CCMPWDChanger」と入力してから Enter キーを押します。注: IPMASysUser のアプリケーション ログに障害の監査結果が表示される場合、CCMPWDChanger でパスワードをリセットし、IPMASysUser のレジストリ キーを確認します。クラスター内のすべての CallManager サーバ上で CTIManagers をリセットします。

関連情報

- [DC ディレクトリのパスワードを変更する方法](#)
- [Cisco CallManager および Cisco Unity でのパスワード変更の設定例](#)
- [音声に関する技術サポート](#)
- [音声とユニファイド コミュニケーションに関する製品サポート](#)
- [Cisco IP Telephony のトラブルシューティング](#)
- [テクニカルサポートとドキュメント - Cisco Systems](#)